

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 13日

事業所名 児童デイサービスあそぼう

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		活動によって支援の場所をかえている	危機管理をしっかりするようにする
	2 職員の配置数は適切である	4		児童の特性によって活動を工夫している	活動によって少しほしい時(海での活動の時)がある→ボランティアを使う
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	3	職員どおし声掛けをしながら児童の配慮を行っている	玄関やトイレ等に段差があるのでバリアフリー化はまだまだ課題です。今後、改善が必要
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		児童の利用人数や特性によって活動を工夫している	職員どうし話し合いをするようにし、常に声掛けをしながら心地よい環境作りを図る
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		振り返りは職員どおしで行っている	わからないことや疑問点等は保護者にも確認して日頃の改善を図っている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	保護者等の意向を把握して、職員みんなて共有している	業務改善は行っているが、すべて改善できてはいないので今後評価表のもとどうしたら改善するか職員どうしで話し合いをするようにする
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	去年は結果を保護者等に公開している	今後、会報等が作れたらと思っている
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	業務に関しての意見を福祉以外の方に確認している	今後、福祉関係の方にもアドバイスをもらう機会を設けていこうと思っている
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		職員に対し、研修の情報を伝えている	研修に行った時は、しっかり他の職員にフィードバックするようにする
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		計画書作成の時は職員みんなで話し合っています	しっかり職員みんなで話し合って計画を作成すること
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		職員どおし話し合いをするよう心がけています	情報がすべてにいきわたるよう確認はしっかり行う
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		保護者や各関係機関等と話し合いをしっかりとっている	計画書の作成については担当者会議等での意見や保護者の意見を踏まえて、職員どおし話し合った後作成して、作成後は再度見直すこと
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		児童のニーズに沿って達成期間を設けています	計画を確認・見直しをするよう心掛ける
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		土曜日や祝祭日はなるべく外での活動にしている	職員どうし話し合いはしっかり行うようにする
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		室内活動と外での活動を交互に行うように工夫している	児童の活動にメリハリがつくような活動を考える
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		特性によって話し合っています	個別活動がまだまだできないことがあるので、活動内容を話し合うことが必要
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		送迎の時間の確認やその時間に伴った活動の内容はしっかり話をしています	情報の共有を徹底すること	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		翌日の支援の確認や気づいたことや保護者からの伝言等は直接伝えるか、SNS等で伝えている	情報忘れがないよう確認を徹底する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		支援後に記録をとるようにしている	記録の記入忘れがないよう職員とおし声掛けをしながら確認しよう
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		職員どうしや各事業所や相談員等と話し合って計画の見直しをしている	計画の見直しをして、各児童のニーズが達成できているか確認する
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童にもっとも関わる職員を参加するようにしている	参加の時は、しっかり情報をまとめて何が課題か？確認するようにする
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2	情報は収集するようにしている	まだまだ連携できていないのが現状なので、今後取り組んでいこうと思う
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2	保健士とは連携している	すべての機関の連携は行っていないが、今後医療的ケアが必要な児童を受け入れるときは考えていきたい
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	2	看護師と連携を保持している子はいます	上記の23のチェック項目同様、そういった児童を受け入れるときは考えていきたい
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	相談員を当して情報を確認している	連携はしているが、情報共有はまだまだ足りないと思うので今後強化していこうと思う
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	小学校に上がる時に学校の支援方法等を確認するようにしている。	学校側からの情報が少ない時があるので、電話や直接行って確認をとる必要
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	他の児童発達支援事業所と交流を持つことがある	交流の回数はまだ少ないので今後活動を増やしていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	どんな活動が行われているか？情報をみつける	まだまだできていない。今後そういった機会を職員で話し合って計画を立てていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	会議等の情報は確認しています	情報の内容を研修に活用できたらと思う
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や電話・SNS等で常に情報共有をしています	情報を共有して、しっかり理解するよう職員お互い確認するようにする
保護者への	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	保護者の立場に立って支援するようにしている	しっかり職員みんなで話し合うことを徹底する
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		わからないことがあったらその都度説明しています	説明の行き違いないよう確認をしっかり行う
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		同意を得るために、確認してもらってサインと印鑑をもらっています	印鑑・サインの押し忘れがないようしっかり確認する
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		必要に応じて相談員や他の事業所等にも助言を求めたりしています	助言をする時は、早めに行い助言後のも保護者に対しフォローもしっかり行う
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	活動に保護者をよんだ時がある	保護者同士の支援はまだできていない。今後計画を立ててみようと思う

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		早めに対応するよう心掛けている	相談はしっかり話を聞き、早めにその対応を行う。行った後のフォローもしっかり行う。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	活動は毎月発信している。	今後、発信に方法で何かいいアイデア等があったら話し合っ取り組んでいきたい
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		個人情報についての承諾の書類を作成している	取り扱いは十分に注意する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		言葉かけには十分に注意しています	言葉かけで実際配慮されているか？職員どうして確認しあうようにする
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	工夫していません	まだ行えていない。今後の活動にボランティア等を頼んで行ってみたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		定期的に避難訓練や感染防止等のお知らせを周知している	今後、行う日程表を作れたらと計画している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		避難訓練の様子を写真にとっています	年に2回行う計画を立てています。今後は春休みに行う予定です。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1	わからない時は保護者に聞いて対処しています	それぞれの状況の情報共有を徹底する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	保護者や児童に確認して、日頃の食事やおやつに十分に注意しています	アレルギーでおこる状況を把握しておくことが必要
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		職員みんなあて情報を共有しています	事例等に内容をネット等で集めて、知識を高められたらと思っている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		研修に参加している	研修を事業所内でも行うようにする
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	現在、身体拘束をする児童はいない	現在、身体拘束を行う児童はいない。今後やむを得ず行わないといけない場合は保護者や相談員、関係機関等と十分に話し合っしていきたい

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。